

大河朗読講演

『流転の子 最後の皇女・ 愛新覚羅嫺生』 —語り継ぐ歴史—



十二単演口家玄閑

父は「ラストエンペラー」愛新覚羅溥儀の実弟溥傑。母は天皇家と縁戚にあたる侯爵家令嬢嵯峨浩。敗戦後わずか5歳で動乱の大陸を母と共に流転し、日本と中国、激動の歴史に引き裂かれてもなお愛を貫いた一族の真実の物語。歴史的な一族に生を受け、激動の日中間を生きた女性の半生を貴重な秘蔵写真の数々、著者の朗読と音響で綴る大河朗読講演です。

前半は歴史解説講演。2歳で清朝最後の皇帝に即位した愛新覚羅溥儀は、後に傀儡国家「満州国」皇帝となる。日満一体の証として弟溥傑と嵯峨浩の婚儀が進められるのだが一。

後半は朗読講演。ソ連軍の満州への侵攻、皇帝一族の都落ち、母浩と娘嫺生の凄絶な流浪が始まる一。どんなに時代が流れようと、政治体制が違おうと、真心だけが人をつなぐと信じた人々の愛と再生の物語。壮大な歴史絵巻をお伝えします。

ノンフィクション作家

本岡 典子

■プロフィール

ノンフィクション作家 元ニュースキャスター

『戦争の世紀』を描く歴史ノンフィクションに力を注いでいる。構想20余年、取材執筆4年の歳月をかけた『流転の子 最後の皇女・愛新覚羅嫺生』（中央公論新社）がベストセラーに。現在は、開戦時、最前線の指揮官として日米戦争の中核を担った海軍青年士官たちの姿を未公開資料で迫る群像長編ノンフィクションを執筆中。

『100歳夫婦力！二人で始めるピンピン・キラリ』（中央公論新社）『魂萌え！の女たち』（岩波書店）など著書多数。日本文藝家協会会員。日本女性医学学会会員。関西学院大学卒。東京在住。



チケット販売

チケット発売 6/3(木) 9:30～

全席 前売 500円

自由席 当日 1000円(残席がある場合のみ)

芦屋市民センター事務所(9:00-17:30、日祝17:00まで、火休)

芦屋市役所売店(平日9:30-17:00)

ローソンチケット(Lコード: 51998)

問合せ

芦屋市立公民館 ☎ 0797-35-0700

芦屋市業平町8-24

ashiyagawa.c@gmail.com



2024 7/31(水)

14:00～15:30(開場13:30)

会場

ルネサンスクラシックス

芦屋ルナ・ホール

主催：芦屋市 芦屋市教育委員会 芦屋市立公民館